



平成 19 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 : 株 式 会 社 エ イ ジ ア
 (コード番号: 2352 東証マザーズ)
 本 社 所 在 地 : 東 京 都 品 川 区 東 品 川 四 丁 目 12 番 6 号
 代 表 者 : 代 表 取 締 役 江 藤 晃
 問 合 せ 先 : 取 締 役 経 営 企 画 室 長 美 濃 和 男
 TEL (03) 5461-0848 (代 表)

平成 19 年 3 月 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 18 年 11 月 10 日 付 当 社 「 平 成 19 年 3 月 期 中 間 期 業 績 予 想 及 び 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ 」 に て 公 表 し た 平 成 19 年 3 月 期 業 績 予 想 を 、 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す 。

記

1 . 平 成 19 年 3 月 期 通 期 業 績 予 想 の 修 正 (平 成 18 年 4 月 1 日 ~ 平 成 19 年 3 月 31 日)

(1) 連 結 業 績 予 想

(単 位 : 百 万 円 、 %)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	601	108	116
今 回 修 正 予 想 (B)	536	127	134
増 減 額 (B - A)	65	19	18
増 減 率 (%)	10.8	-	-
(ご 参 考) 前 期 (平 成 18 年 3 月 期) 実 績	-	-	-

注) 連結は、平成 19 年 3 月 期 より 作 成 し て お り ま す の で 、 前 期 実 績 は あ り ま せ ン 。

(2) 個 別 業 績 予 想

(単 位 : 百 万 円 、 %)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	600	102	109
今 回 修 正 予 想 (B)	535	121	128
増 減 額 (B - A)	65	19	19
増 減 率 (%)	10.8	-	-
(ご 参 考) 前 期 (平 成 18 年 3 月 期) 実 績	673	111	62

2. 修正の理由

当社グループは、ウェブキャス事業（アプリケーションソフト開発）、ソリューション事業（受託開発）、クリエイティブ事業（ウェブサイト制作）、アウトソーシング事業を営んでおりますが、前期（平成18年3月期）と比較し、ソリューション事業、クリエイティブ事業の売上はほぼ横ばいとなりました（アウトソーシング事業は19年3月期中に新設）。しかし、主力事業で利益率の高いウェブキャス事業の売上が前期比約35%落ち込んだことが収益にも大きく影響し、赤字幅が拡大する見込みです。

ウェブキャス事業の売上減少については、ソフトウェアプロダクト市場の低迷、競合他社の追い上げ等の外部要因に加え、前期（平成18年3月期）に研究開発要員を新製品開発よりもカスタマイズ対応に注力させたことによる製品競争力の相対的な低下等が影響しているものと考えております。

これらの課題を克服すべく、経営資源の再配分を実施し、研究開発体制の充実・強化を図り、より大きな市場を開拓できるアプリケーションソフトの開発に注力するとともに、営業プロセスの改善・再構築に努めてまいりましたが、平成19年3月期中には十分な成果を發揮するには至りませんでした。

以上

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。